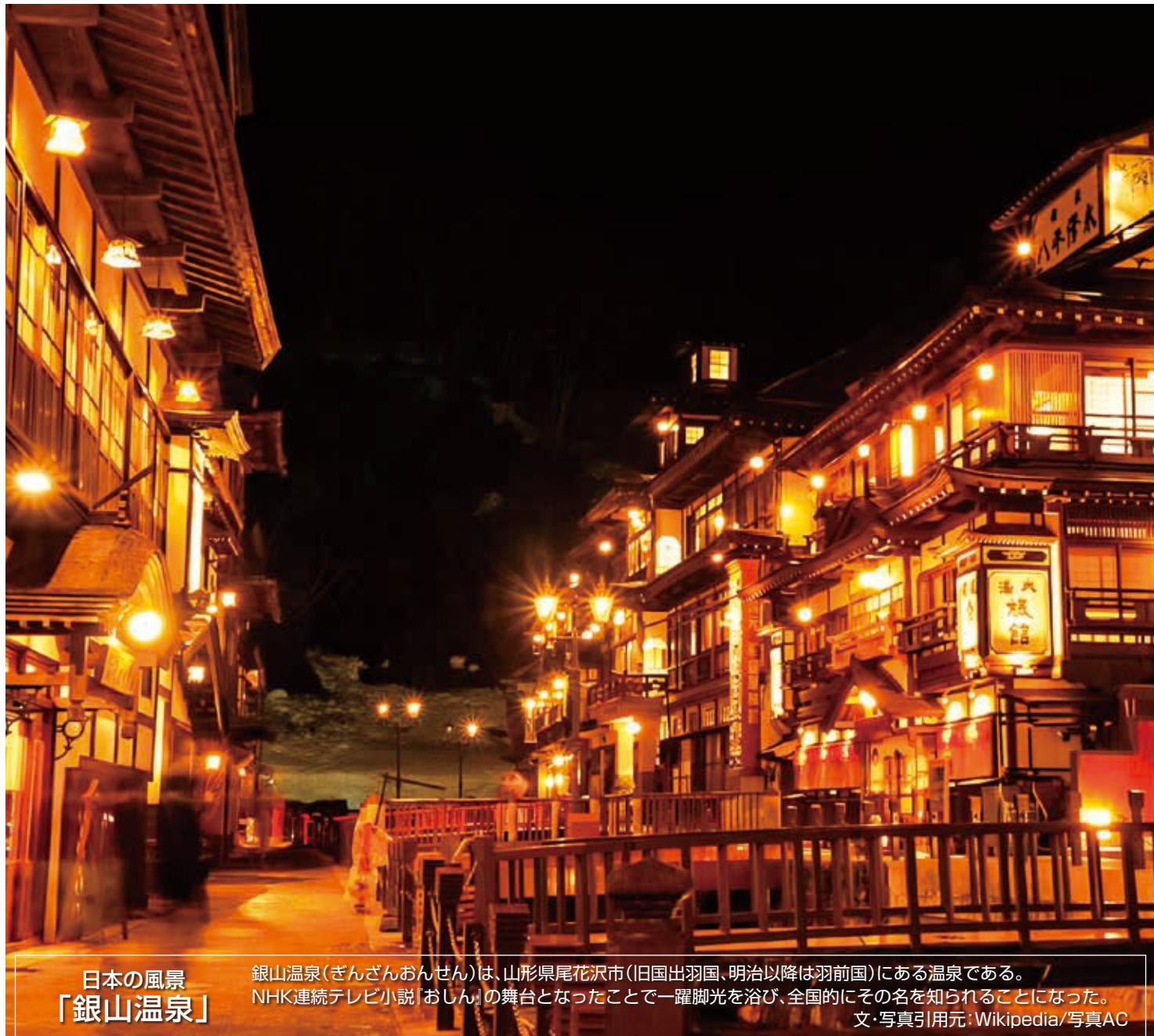


こうち+クロス

高知赤十字病院広報誌
2022.9
vol.72

ご自由にお持ち帰りください



日本の風景
「銀山温泉」

銀山温泉(ぎんざんおんせん)は、山形県尾花沢市(旧国出羽国、明治以降は羽前国)にある温泉である。NHK連続テレビ小説『おじん』の舞台となったことで一躍脚光を浴び、全国的にその名を知られることになった。

文・写真引用元: Wikipedia/写真AC

高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

受診される皆様へ

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 平等かつ適切な医療を受ける権利
- 個人の人権が尊重される権利
- プライバシーが保障される権利
- セカンドオピニオンを受ける権利
- 医療上の情報及び説明を受ける権利
- 医療行為を選択する権利

私たちからのお願い

- ご自身の健康に関する詳細な情報を医師をはじめとする医療提供者にお知らせください。
- 治療や検査等は、理解し、納得したうえでお受けください。分からぬこと等は、ご遠慮なく医師をはじめとする医療提供者にお問い合わせください。
- 病院内では他人の迷惑にならないようにお願いいたします。
- 暴言・暴力行為があった場合、診療をお断りすることがあります。
- 医療費の支払い請求には、速やかな対応をお願いいたします。
- その他、より快適な入院生活をお過ごしいただくために、病院内の約束事についてはご協力ををお願いいたします。

呼吸器外科が ダ・ヴィンチ(内視鏡下手術支援ロボット)手術の 保険適応を取得しました

肺癌の手術は従来、胸腔鏡手術という細長いカメラを胸の中に入れて、映った画像で肺や血管を見ながら処理していく胸腔鏡下手術が確立されていましたが、近年、日本で内視鏡下手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)手術が導入され始めました。

この度、高知赤十字病院において、2022年4月より肺癌、縦隔腫瘍の手術に内視鏡下手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)手術を導入し、8月より保険適応を取得しました。

ダ・ヴィンチ手術は、下位の肋骨の間に8mmほどの小さな穴をいくつか開け、4つのアームを遠隔で操作し、関節が自在に曲がる鉗子を操り、繊細な動きで膜の剥離を行う手術です。

手の届きにくい部位での操作や、手のブレが少ない繊細な剥離操作が可能で、今後、手術の質を高めていく可能性のある注目すべき術式です。肺癌や縦隔腫瘍の疾患を対象に取り組んでいきますので、いつでもお気軽に相談してください。



▲ DaVinci手術場の風景



◀ 手術画像
(上肺静脈の剥離)



手術操作の風景 ▶

院内での取り組み —呼吸器チームとして—

呼吸器内科専門医、呼吸器外科専門医をはじめとするメディカルスタッフ(看護師、栄養士、理学療法士、薬剤師)が、患者様とともにそれぞれの専門性をもとに高い知識と技術を発揮し、互いに理解し、目的と情報を共有して連携し、その人らしい生活を実現するため、呼吸器チームとして医療に取り組んでいますので、安心して受診していただけますと幸いです。

ダ・ヴィンチ手術を積極的に導入し、これからも質の高い安全な手術を目指して努力して参ります。

第三外科部長

吉田 光輝



四国DMAT実動訓練が開催されました

救命診療部 原 真也

高知赤十字病院救命診療部の原と申します。

今回は令和4年7月23日(土)に高知県で行われた四国DMAT実動訓練について報告します。DMATとは、Disaster Medical Assistance Teamの略で、災害急性期に現場で活動する医療チームのことです。新型コロナウイルス第7波拡大のさなか、感染対策を行って無事に開催することができました。

今回の訓練は、南海トラフ地震の想定で、おもに高知県の被害が甚大という内容で行われました。実動訓練とは机上演習とは異なり、四国内のDMAT隊が被災県にかけつけ、実際に被災病院の支援に入ったり、EMIS入力を行ったりする訓練です。EMISとは、Emergency Medical Information Systemの略で、インターネット上で医療機関や医療チームの登録やモニタリングを行う広域災害救急医療情報システムのことです。



訓練では、高知県庁にDMAT調整本部が設置され、DMAT隊の活動拠点となる本部が高知赤十字病院と高知大学病院に指定されました。高知赤十字病院には、現在DMATが7隊(医師9名、看護師14名、業務調整員12名の合計35名)が在籍しており、今回の訓練にはその半数にあたる18名が参加しました。

午前9時に訓練が開始されると、四国内の各県から約20チームのDMAT隊が次々に当院へ参集し、EMISで県内の被災状況を確認し、被害が大きく支援が必要な病院のスクリーニングを行いました。本来なら実際にその病院まで行って模擬患者にトリアージや診療をしたり、病院支援活動を行うのですが、コロナ禍のため日赤の会議室でシミュレーションによる机上演習で代用しました。

災害時には医療資源も重要なのですが、それにもまして指揮命令系統の確立と正確な情報収集や情報伝達が欠かせません。正確な情報がなければ、本当に必要な医療ニーズの供給や補充ができないからです。今回の訓練でもうまく情報を集約することができず、本部が混乱した場面がいくつか見られました。今回の訓練で得られたたくさんの教訓を、今後の南海トラフ地震対策に生かしていきたいと思います。

赤十字の大きな使命に、救急医療と災害医療があります。とくに災害医療では、全国の赤十字職員が世界の紛争地や災害現場に赴いて救護班として活動しています。ほかにも市民の皆様に対する救護法や応急処置の指導、献血業務など赤十字の活動は多岐にわたります。

日本でも東日本大震災以降、熊本地震や西日本豪雨災害など、たくさんの災害が発生しています。まだまだコロナ禍で大変な時期がつづいていますが、南海トラフ地震がいつ起こるかわからないということを肝に銘じて、今後も災害医療の普及に尽力していきたいと思います。みなさまのご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。



医療公開講座を開催しました



7月16日(土)13:30より総合あんしんセンターにて、高知赤十字病院 医療公開講座を開催いたしました。今回は高知新聞企業、日本赤十字社高知県支部との共催とし、当院の医師2名が講演を行いました。コロナ禍の中であるため手指消毒や検温、会場の換気等、感染対策を徹底しながら無事開催することができ、多くの県民の皆さんに参加していただくことができました。

講演内容としましては、講演①整形外科 高橋芳徳医師による「整形外科で診る手のケガー骨折から切断までー」、講演②呼吸器外科 吉田光輝医師による「肺について知



整形外科 高橋芳徳医師



呼吸器外科 吉田光輝医師

りたい－肺がんの手術治療とは－」でした。参加者からは、専門の医師からわかりやすく説明が聞けた、質問もでき医師との身近な時間が共有できた、また参加したいなどの感想をいただきました。

今後も広く県民の皆様に、病気や治療、当院で行っている診療について医師から直接お話をさせていただく公開講座を継続して開催してまいります。次回開催時には、ぜひ皆さまお気軽にご参加ください。



高知赤十字病院 駐車場ご利用案内

駐車料金

外来患者さまは、無料です。2階 総合受付
計算窓口へ駐車券をご提示ください。

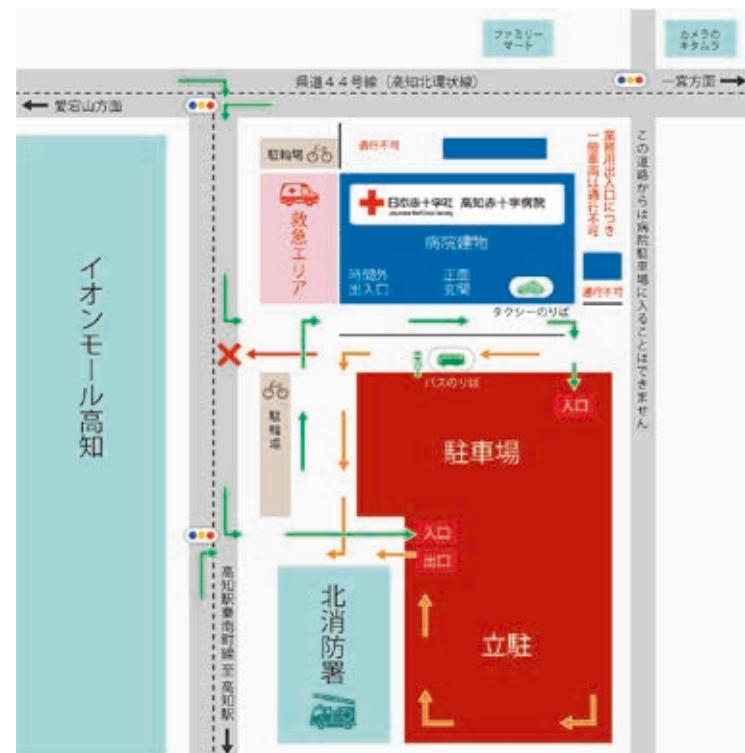
上記以外の方は、60分までは無料、以降30分ごとに100円が加算されます。

1日の上限額は、500円です。

【駐車料金が無料になる場合】

- ・入院日
 - ・手術・検査でのご家族付添い
 - ・小さなお子さまの付添い
 - ・病院からの呼び出し(病状説明等)
 - ・退院日

※上記の場合は無料となりますので、時間内
は2階 総合受付計算窓口、時間外は救急外
来受付にお申し出ください。



皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております

皆さまへよりよい情報提供ができる紙面つくりを目指しております。
本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。

・広報誌との寄り合いたい。
(088-822-1201(代表))

